

男女双方の意識改革に係るアンケート

記入上の注意

- 調査票は、原則「令和3年 月 日現在」で記入してください。
- 調査票に記載された事項については、統計処理し、施策の目的以外には使用いたしません。

I あなた自身について

- あなたの性別を教えてください。
①男
②女
③その他／答えたくない
- あなたの年齢を教えてください。
①15～29歳 ②30～39歳 ③40～49歳 ④50～59歳 ⑤60～69歳
- あなたのお住いの市町はどちらですか。
①広島市 ②呉市 ③竹原市 ④三原市 ⑤尾道市 ⑥福山市
⑦府中市 ⑧三次市 ⑨庄原市 ⑩大竹市 ⑪東広島市 ⑫廿日市市
⑬安芸高田市 ⑭江田島市 ⑮府中町 ⑯海田町 ⑰熊野町 ⑱坂町
⑲安芸太田町 ⑳北広島町 ㉑大崎上島町 ㉒世羅町 ㉓神石高原町
- あなたの現在の就業状況・形態は次のどれですか。
①正社員・正職員 ②契約社員・契約職員・嘱託 ③派遣社員 ④パート・アルバイト
⑤自営業 ⑥学生 ⑦無職
- あなたの収入の状況をお教えてください。
(世帯ではなく、あなた自身の年収をおおよそでお答えください。)
①250万円未満 ②250～500万円未満 ③500～750万円未満 ④750～1000万円未満
⑤1,000万円以上 ⑥わからない／答えたくない
- あなたは結婚されていますか。
①未婚 ②既婚（配偶者有） ③既婚（死別／離別） ④その他／答えたくない
- あなたの世帯構成を教えてください。
①ひとり暮らし ②夫婦 ③夫婦（または自分）と子
④その他
- 7で②または③と答えた方にお伺いします。共働き世帯ですか。
①共働き世帯である ②共働き世帯でない

Ⅱ 性別に関する意識について

問1 あなたは、現在、『男だから』あるいは『女だから』〇〇すべき』といったような、性別に関する意識に影響されることなく、働き方や暮らし方を選択できていると感じますか。

当てはまるものを1つだけ選んでください。

- ①できている ②どちらかというのでできている ③あまりできていない
④できていない ⑤わからない

問2 あなたは、過去において、『男だから』あるいは『女だから』〇〇すべき』といったような、性別に関する意識に影響されたために、働き方や暮らし方を選択できなかった経験はありましたか。

- ①あった ②なかった ③わからない

問3 問2で①と答えた方にお伺いします。

それはどのような場面で経験しましたか。(複数回答可)

- ①進学するとき
②就職するとき
③結婚するとき
④子供をもつとき
⑤仕事でキャリアアップしようとしたとき
⑥仕事の負担や責任が大きかったとき
⑦仕事を辞め(ざるを得なかつ)たとき
⑧仕事を続け(ざるを得なかつ)たとき
⑨家事・育児・介護の負担が大きかったとき
⑩育児や介護などのために休みを取ろうとしたとき
⑪趣味や地域活動などをしようとしたとき。または、しようとして周囲から反対されたとき
⑫その他()

問4 問2で①と答えた方にお伺いします。それはなぜだと思いますか。

あなたのお気持ちに最も近いものを1つだけ選んでください。

- ①社会一般の、性別による固定的な意識(役割分担意識)が変わっていないため
②周囲の人(家族・職場・地域など)の、性別による固定的な意識(役割分担意識)が変わっていないため
③自分自身の、性別による固定的な意識(役割分担意識)が変わっていないため

Ⅲ 男女共同参画に関する意識について

※男女共同参画

男女が、社会の対等な構成員として、自らの意思によって社会のあらゆる分野における活動に参画する機会が確保され、もって男女が均等に政治的、経済的、社会的及び文化的利益を享受することができ、かつ、共に責任を担うべき社会を形成すること

問5 あなたはここに挙げるような分野で、男女の地位は平等になっていると思いますか。

①～⑦のそれぞれの項目について、あなたのお気持ちに最も近いものの番号を1つずつ選んで○を付けてください。

場面	男性の方が優遇されている	どちらかという と男性の方が優遇されている	平等	どちらかという と女性の方が優遇されている	女性の方が優遇されている	わからない
① 家庭生活で	1	2	3	4	5	6
② 職場で	1	2	3	4	5	6
③ 学校教育の場で	1	2	3	4	5	6
④ 政治の場で	1	2	3	4	5	6
⑤ 法律や制度上で	1	2	3	4	5	6
⑥ 社会通念・慣習・しきたりなどで	1	2	3	4	5	6
⑦ 社会全体で	1	2	3	4	5	6

問6 「夫は外で働き、妻は家庭を守るべきである」という考え方がありますが、あなたはこの考え方に賛成ですか。それとも反対ですか。

次の中から、あなたのお気持ちに近いものを1つだけ選んでください。

- ①賛成
 ②どちらかという
と賛成
 ③どちらかという
と反対
④反対
 ⑤わからない

問7 一般的に、女性が職業を持つことについて、あなたはどのように思いますか。

当てはまるものを1つだけ選んでください。

- ①女性は職業を持たないほうがよい
- ②結婚するまでは、職業を持つほうがよい
- ③子どもができるまでは、職業を持つほうがよい
- ④子どもができて、ずっと続けるほうがよい
- ⑤子どもができたなら辞め、大きくなったら再び職業を持つほうがよい
- ⑥その他 ()
- ⑦わからない

問8 あなたは、次のア～クの考え方についてどのように思いますか。

あなたのお気持ちに最も近いものの番号を1つずつ選んで○を付けてください。

考え方	そう思う	どちらかという うとそう思う	どちらかとい うとそう思わ ない	そう思わない	わからない
ア 家計を支えるのは男性の 役割である	1	2	3	4	5
イ 家事や育児は女性がやっ たほうがよい	1	2	3	4	5
ウ 育児休業は女性が取得し たほうがよい	1	2	3	4	5
エ 子どもが病気になったら 母親が看病したほうがよ い	1	2	3	4	5
オ 男の子は男らしく、女の子 は女らしく育てたほうが よい	1	2	3	4	5
カ 女性より男性のほうが管 理職やリーダーに適して いる	1	2	3	4	5
キ 男性は主たる仕事、女性は 補助的な仕事をするもの である	1	2	3	4	5
ク 女性はキャリアアップし なくてもよい	1	2	3	4	5

Ⅳ ワークライフバランスについて

- ※ 「家庭生活」とは、家事、育児、介護など家庭において必要な生活のことです。
- ※ 「自由時間」とは、趣味、地域活動など個人が自由に過ごせる生活時間のことです。
- ※ 睡眠、食事、入浴など生活していく上で必要なことは除いて考えてください。
- ※ 学生の方は、「仕事」を「学業」と読み替えて、お答えください。

問9 あなたの現実の生活全体を10とした場合、「仕事」、「家庭生活」、「自由時間」を、それぞれどのくらい優先（重視）しているかの比率を、全体が10になるように、それぞれに「0」から「10」の数値をご記入ください。 ※費やしている時間ではなく、優先（重視）度でお答えください。

仕事（ ） 家庭生活（ ） 自由時間（ ）

問10 あなたの理想の生活全体を10とした場合、「仕事」、「家庭生活」、「自由時間」を、それぞれどのくらい優先（重視）しているかの比率を、全体が10になるように、それぞれに「0」から「10」の数値をご記入ください。 ※費やしている時間ではなく、優先（重視）度でお答えください。

仕事（ ） 家庭生活（ ） 自由時間（ ）

問11 問9と問10の比率が異なる方にお伺いします。

現実と理想の生活にギャップが生じている理由は何だと思えますか。

あなたの考えに最も近いものを1つだけ選んでください。

- ①仕事が忙しいなど、仕事を優先せざるを得ない
- ②家事や育児、介護が忙しく、家庭生活を優先せざるを得ない
- ③周囲の人（家族・職場・地域など）の理解や協力が得られない
- ④自分自身が、性別による固定的な意識（役割分担意識）にとらわれている
- ⑤自由時間を充実させる方法が分からない
- ⑥その他（ ）